

産後ケア事業従事者向け研修

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援や子育て家庭の不安を解消することが求められている中、特に出産直後のケアの重要性が高まっており、「産後ケア事業」の実施が推進されています。

そこで京都府では、各市町村と医療機関が「産後ケア事業」を実施するにあたって、産後の身体面・精神面のケアに関する基礎知識等を身に付け、適切なケアの提供や関係機関との連携により、行政と医療機関の両側面から産後の母児に対する支援の充実を図ることを目的に「産後ケア事業従事者向け研修」を開催いたします。

日 時

平成31年 **1月16日** (水) 10:00~16:30

会 場

京都リサーチパーク西地区4号館 ルーム1 (定員100名程度)

(〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 90~94)

JR 嵯峨野線(山陰線) 丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分

対 象

産後ケア事業に実施する医療機関または実施を検討する医療機関の助産師等
看護職及び市町村担当者等

申 込

事前申込み制 (定員に達し次第、受付を終了いたします。)

※会場内は飲食禁止です。ご注意ください。

プログラム

1. 行政説明 最近の母子保健の動向 >>10:10~10:30
京都府健康福祉部こども総合対策課 きょうと子育てピアサポートセンター

2. 講義①「産後ケア事業を通じた地域の連携」 >>10:30~11:30
講師：東邦大学看護学部教授 福島 富士子 氏

----- 11:30~12:40 《お昼休憩》 -----

3. 講義②「妊産婦のメンタルヘルスケアの実践」 >>12:40~13:40
講師：大阪医科大学附属病院看護部 看護師長代理
大阪医科大学看護学部 臨地教育准教授 宮田 郁 氏 (リエゾン精神看護専門看護師)

4. 講義③「妊産婦のメンタルヘルス」 >>13:50~14:50
講師：清仁会亀岡シミズ病院 精神科医長 島田 稔 氏

5. 実際に取り組んでいる医療機関からの事例紹介 >>15:00~15:30
報告者：医療法人財団今井会足立病院 第二足立病院 師長 永井 利枝 氏

6. グループディスカッション >>15:30~16:30

※一部のみの参加も可能です。



講師紹介

(講演順)

東邦大学看護学部 教授 福島 富士子 氏

国立保健医療科学院を経て現職。専門分野は、母子保健政策、ソーシャルキャピタルであり、一般社団法人出産子育て包括支援推進機構理事、「産前・産後サポート事業」及び「産後ケア事業」ガイドライン作成委員会委員を務める。

大阪医科大学附属病院看護部 看護師長代理 大阪医科大学看護学部 臨地教育准教授 宮田 郁 氏

大阪医科大学附属病院でのリエゾン精神看護専門看護師として院内を横断的に実践、チーム医療の調整を中心に活動。専門は、複雑性悲観とトラウマケア、緩和ケア、周産期メンタルヘルスである。

清仁会亀岡シミズ病院 精神科医長 島田 稔 氏

総合病院精神科、精神科単科病院などの勤務を歴て現職。
精神科の外来診療をはじめ、訪問診療、院内リエゾンに携わっている。
京都市西京区の精神保健相談医として相談業務にも従事している。



申し込み方法

下記に必要事項をご記入のうえ、FAX でお申込みいただくほか、きょうと子育てピアサポートセンターポータルサイト内の申込フォームからお申込可能です。

【先着順】定員に達し次第、受付を終了いたします。

FAX : 075 - 692 - 3447

URL : <https://kyoto-kosodatepia.jp/sangocaretraining-form/>



氏 名	
ご所属	
職 種	該当する職種に○をつけてください。 助産師 ・ 保健師 ・ 看護師 ・ その他 ()
ご住所	〒
ご連絡先	()
備 考	※一部のみ参加の方は、受講される時間をご記入ください。